

大学と県の連携による福岡県内での 公共交通オープンデータ整備

九州産業大学 工学部 情報科学科
地域公共交通運行管理支援グループ ReMILab

代表 稲永 健太郎

公共交通オープンデータ最前線2025
2025年 3月 1日(土)@東京大学

研究代表者 紹介

稲永 健太郎 いねなが けんたろう

教授 博士(工学) 専門分野：交通情報学

・ 現在の主な研究・社会活動

– 九州産業大学地域公共交通運行管理支援グループ 代表

– 九州産業大学産学共創・研究推進本部 副本部長

– 日本情報経営学会 常任理事

– 日本経営システム学会 理事

– 福岡県交通対策協議会 委員

– 福岡県MaaS実行委員会 委員

– 古賀市地域公共交通会議 委員(会長)

– 小郡市地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

– 東峰村地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

– 筑前町地域公共交通会議 委員(会長)

– 新宮町地域公共交通活性化協議会 委員(会長)

– 福岡市都市交通協議会 委員

– 福岡市地域公共交通計画協議会(会長)

– 福岡市交通に関する民間企画提案に係る検討会議 委員

– うきは市地域公共交通活性化協議会 委員(会長)

– 須恵町地域公共交通協議会 委員(会長)

– 鹿児島市公共交通ビジョン協議会 委員

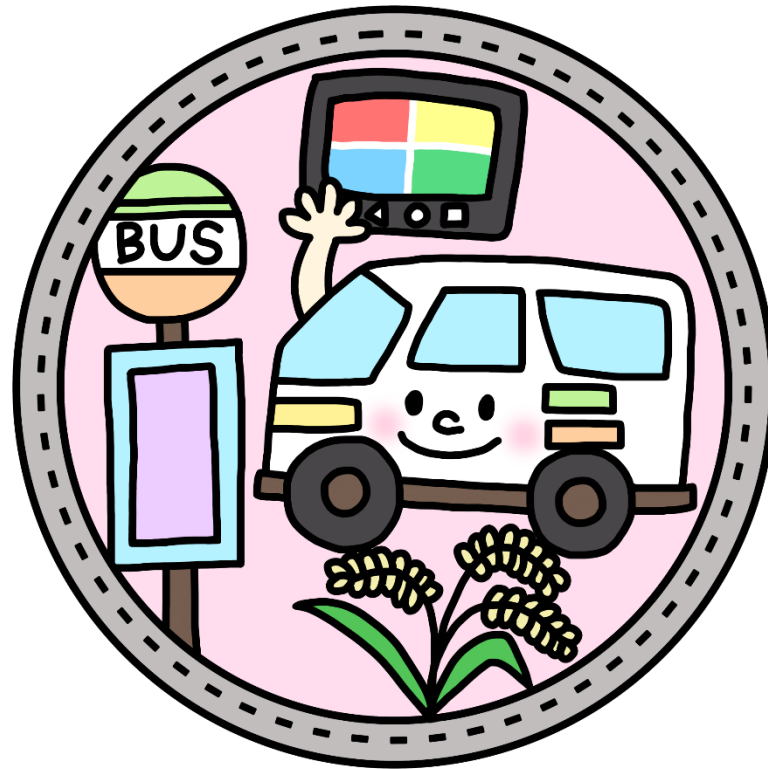
– 鹿児島市公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討会 委員

– 一般社団法人日本バス情報協会 正会員

– 地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushu(Qサポネット)世話人



ICTを使って 地域公共交通の“アップデート”に貢献する



九州産業大学地域公共交通運行管理支援グループ

研究グループ紹介動画



九州産業大学による ICT を活用した
地域公共交通の課題解決支援！



稲永研究室
地域公共交通
運行管理支援グループ



地域公共交通基盤データの整備支援

GTFS (General Transit Feed Specification) : 世界標準の交通基盤データ形式
 GTFS-JP : 国土交通省策定データ形式「標準的なバス情報フォーマット」

芦屋町 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2018年度~)

宗像市
 ふれあいバス・コミュニティバス
 大島渡船・地島渡船
 GTFS整備 (2017年度)
 GTFS-JP整備 (2018年度~)

古賀市 公共施設等連絡バス
 GTFS-JP整備 (2018年度~)
 協力: 古賀タクシー

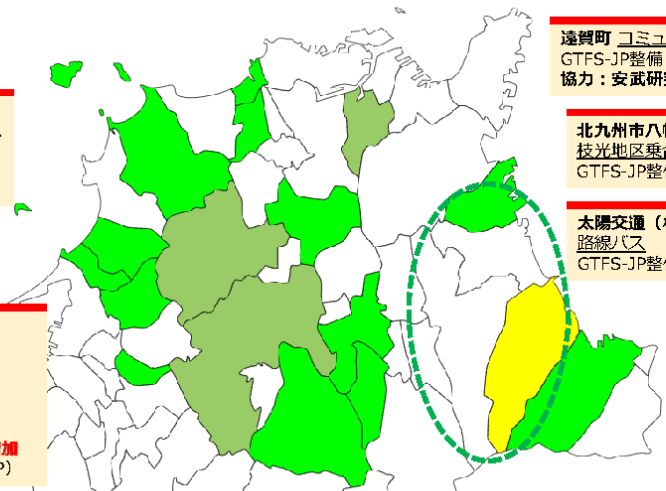
新宮町 コミュニティバス
 GTFS整備 (2016年度)
 GTFS-JP整備 (2017年度~)
 渡船「しんぐら」
 GTFS整備 (2017年度)
 GTFS-JP整備 (2018年度~)
 “猫の島”相島観光客のバス利用増加
 (日祝の前年同月比 最大約6割UP)

久山町 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2019年度~)
 協力: 新宮タクシー

須恵町 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2018年度~)

柳川市 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2018年度~)

みやま市 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2023年度~)



遠賀町 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2018年度~)
 協力: 安武研究室

北九州市八幡東区
 枝光地区乗合タクシー
 GTFS-JP整備 (2019年度)

太陽交通 (株)
 路線バス
 GTFS-JP整備 (2024年度)

田川市 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2022年度~)

直方市 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2023年度~)

荏田町 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2019年度~)
 協力: 安武研究室

嘉麻市 市バス
 GTFS-JP整備 (2018年度~)

川崎町 ふれあいバス
 GTFS-JP整備 (2023年度~)

築上町 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2024年度)

飯塚市 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2019年度~2022年度)

豊前市 市バス
 GTFS-JP整備 (2023年度~)
 協力: 安武研究室

宮若市・飯塚市 共同運行コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2020年度~2022年度)

沖縄県うるま市
 公共施設間連絡バス
 GTFS-JP整備 (2021年度)



福岡県 交通政策課
 オープンデータ整備・GTFSデータリポジトリ等各種オープンデータサイトへの掲載に向けた連携

国土交通省九州運輸局 交通企画課
 オープンデータ整備支援に向けた連携
 令和2年度交通政策関係功労者
 九州運輸局長表彰受賞

宮崎県串間市
 コミュニティバス
 GTFS-JP整備 (2019年度)



福岡の移動につながる! MaaSでまっすぐ! <https://fukuoka-maas.jp/>

福岡の移動につながる!

MaaSで
まっすぐ
MaaS Good

MaaSは
移動しやすく、イコトいっぱい!

- ① ルート検索から予約・決済までがスマホ一つで!
- ② 簡単に便利なデジタルチケットが購入できる!
- ③ お出かけや観光に役立つ地域ならではの情報が満載!

福岡の移動に革新を起こしMaaS!

MaaS(マース: Mobility as a Service)とは
 バス、鉄道、タクシー、シェアサイクルなどの複数の交通手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービスです。

※アプリのダウンロードはコチラ

※各事業者のMaaSの取組に関する詳しい情報はコチラ
<https://fukuoka-maas.jp/>
 福岡県企画・地域振興局交通政策課MaaS推進室

福岡県
Fukuoka Prefecture

今年度
新規4件

築上郡築上町 太陽交通(株)
 築上町上毛町
 宮若市(宗像市乗り入れ路線)

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/opendata-oboegaki.html



AA 文字サイズ・背景色変更 音声読み上げ

Navigation buttons: テーマから探す, 目的から探す, 組織から探す, Google 提供

トップページ > 記者発表資料 > 福岡県と九州産業大学が公共交通のオープンデータ化に関する覚書を締結します

福岡県と九州産業大学が公共交通のオープンデータ化に関する覚書を締結します

発表日: 2024年12月25日 印刷 LINE

担当課: 企画・地域振興部交通政策課
直通: 092-643-3794
内線: 2986
担当者: 田辺

公共交通のオープンデータ化に関する覚書

福岡県と九州産業大学は相互の連携協力について、次の通り覚書を締結する。

(目的)

第1条 この覚書は、福岡県と九州産業大学が公共交通のオープンデータ化に係る事業において相互に連携・協力することにより、持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通の実現に寄与することを目的とする。

(連携協力事項)

第2条 福岡県と九州産業大学は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携協力を行う。

- (1) 県内公共交通のオープンデータ化に関すること
- (2) その他、上記目的達成のために両者が必要と認める事項

(協議)

第3条 この覚書の具体的事項の実施及びこの覚書に定めのない事項については、福岡県と九州産業大学の協議により定めるものとする。

(有効期間)

第4条 この覚書の有効期間は、覚書締結の日から令和7年3月31日までとする。期間満了の日の3カ月前までに、双方のいずれからも何らかの申し出がないときは、さらに1年更新するものとし、その後も同様とする。

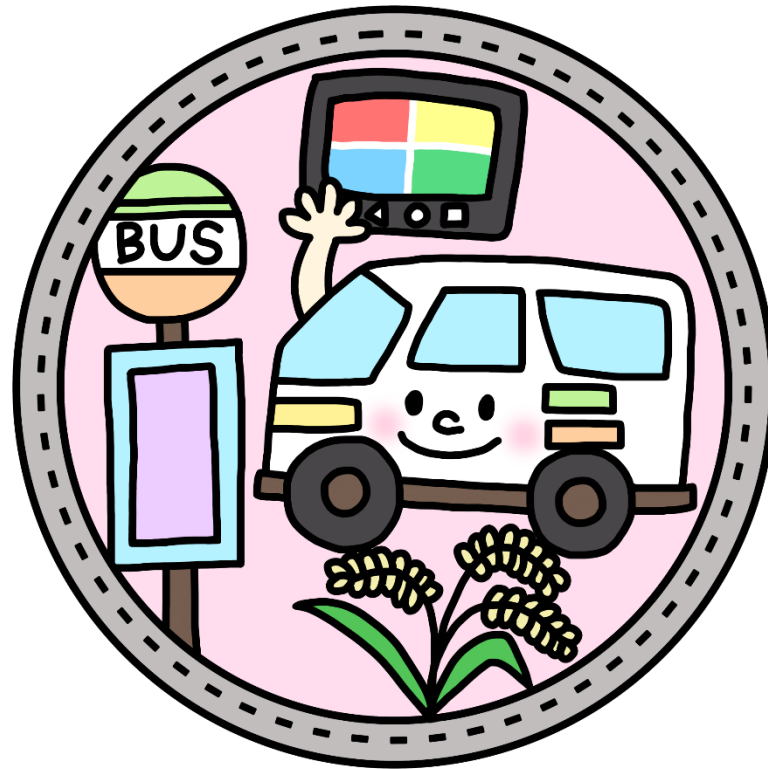
この覚書の締結の証として、本覚書2通を作成し、双方が記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

令和6年12月25日

福岡市博多区東公園7番7号
福岡県知事 服部 誠太郎

福岡市東区松香台2丁目3番1号
九州産業大学 学長 北島 己佐吉

ICTを使って 地域公共交通の“アップデート”に貢献する



九州産業大学地域公共交通運行管理支援グループ